

# 本学の就職キャリア支援と理系の取り組み



明治大学 就職キャリア支援部  
生田就職キャリア支援事務長

中山真一



明治大学  
(生田キャンパス)

本学では、2007年度に行われた事務機構改革で、就職キャリア支援センターのもと、就職支援とキャリア教育を一体化し、就職キャリア支援を強化したのに続き、2008年には和泉キャンパスに就職キャリア支援事務室を設け、和泉地区の学生の利便性を高めた。

さらに2009年4月に行われた事務組織の見直しにより、就職キャリア支援部が設置され、文系学部は就職キャリア支援事務室、理系学部には生田就職キャリア支援事務室が設置され、各キャンパスに事務室を置くことにより、より積極的に就職キャリア支援を実施する体制を整えた。

## 本学の就職キャリア支援とは

本学は、「入口から出口まで」の一貫した支援体制を構築し、キャリア支援と就職活動支援の二つを柱として各種行事・講座などを実施している。

キャリア支援では、2005年度から学部間共通総合講座（キャリアデザイン関連講座）を開講し1年次からのキャリア教育を導入し、また、2004年度から続いている全学版インターンシップにおいて、①就業体験を通じた学習目的の明確化と学習意欲の喚起、②高い職業意識を持った職業人や創造的人材の育成、③産業界や地域社会との交流と相互理解を基本理念として、多くの学生を企業・団体に派遣している。

そして、新たな試みとして、就職キャリア支援センターの教員スタッフを中心となり、出口支援から見た教育プログラムの開発を行っている。これは、2007年度から「就職キャリア支援プログラム」を産学連携教育プログラムの課外講座として開講し、社会や企業で求められている自ら課題を発見し解決する力や、他者に働きかけ仕事を行っていく力、また、自己の特性を理解し主体的に自らのキャリアを切り拓いていく力等の、社会人として必要となる基礎的な能力の養成を図っている。本講座は、実際のビジネス現場で使われている教材やケーススタディ等を用いた実践的な能力の養成を目的としている。

就職活動支援としては、「就職は挑戦である！」をモットーに手作りのきめ細かな支援を行っている。3年生・院生1年の9月下旬に行う就職・進路ガイダンスを始めとして、手作りの各種支援行事を行っており、学生が直面している問題や進路選択全般について「フェイス・トゥ・フェイス」を重視した専任職員による対面式の個別支援に力を入れている。

## 理系の取り組み

生田キャンパスにある理系学部では、生田就職キャリア支援事務室が事務局となり、理工学部には就職指導委員会、農学部には就職担当委員会がそれぞれ設置されており、教員と職員が一丸

となつて各種行事や講座の企画・運営及び学生への支援を行っている。

理系の就職活動支援の特徴として、理系学生は論理的思考能力が高いと言われながら、話下手のために面接試験などで実力を発揮できずに終わるケースが多い。そのため、「会話力」の向上を目指し、グループディスカッション（他大学とも合同で実施）や面接対策を多く開催している。

また、多くの学生が研究開発を含む技術職として働くことを目指していることから、現場での臨場感やそこで働く方々の話を聞き、自分で働くことをイメージさせるため、ご協力をいただける企業の工場や事業所で「見学会」を実施している。

一方、キャリア支援としては、前述のキャリアデザイン関連講座として理系に特化した「キャリア形成支援講座」を設置しており、各業界の一線で活躍されている技術者をお招きし、①学生が将来設計について考えるヒント、②自分なりの社会観・仕事観を持つ一助となることを目的として開講している。

理系では、学部・専攻により希望する進路が異なることから、学部・専攻の特色を踏まえた就職活動支援やキャリア支援が必要であり、今後の成果や実績を踏まえながら、さらに深化した学部・専攻別の支援行事やキャリア支援を実施したい。